

授業の方法等

段階	科目	段階	科目例	到達目標例	授業の方法	主たる授業素材
1L	法律基本科目	基礎科目	〇〇法基礎	各法分野の基礎知識の修得	講義（・対話）	教科書、百選等の判例集（・演習書）
	法解釈基礎		法解釈基礎	各法分野の基本問題の文書作成能力の修得	文書作成・対話（・講義）	教科書、百選等の判例集（・演習書）
2L	法律基本科目	応用科目	対演・応用	各法分野の応用知識の修得、文書作成に必要な判例・法律問題等の理解の修得、その他各分野ごとに実務法曹として活躍する上で必要と定義する能力の修得	対話・講義（・文書作成）	教科書、百選等の判例集、演習書、設例、判例等各科目で必要と考えるもの
	実務基礎科目	講義	民事裁判実務・刑事手続実務	民刑事の実務において必要となる基礎知識の修得	講義・対話（・文書作成）	教科書、百選等の判例集、演習書、設例、裁判例、事件記録等各科目で必要と考えるもの
	実務基礎科目	演習	法律文書作成演習	判例を中心とした民事系の応用的な文書作成能力の修得	文書作成・対話	教科書、百選等の判例集（・演習書）
	司法試験選択科目			各法分野の応用知識の修得、文書作成に必要な判例・法律問題等の理解の修得、その他各分野ごとに実務法曹として活躍する上で必要と定義する能力の修得	講義・対話（・文書作成）	教科書、百選等の判例集、演習書、設例、判例等各科目で必要と考えるもの
3L	法律基本科目	応用科目	家族法・応用刑訴・商取引法	各法分野の応用知識の修得、文書作成に必要な判例・法律問題等の理解の修得、その他各分野ごとに実務法曹として活躍する上で必要と定義する能力の修得	対話・講義（・文書作成）	教科書、百選等の判例集、演習書、設例、判例等各科目で必要と考えるもの
	法律基本科目	R&W		各分野ごとに実務法曹として活躍する上で必要な法律問題の調査・文書作成能力の修得	文書作成・対話	主として事例問題
	司法試験選択科目	R&W		各分野ごとに実務法曹として活躍する上で必要な法律問題の調査・文書作成能力の修得	文書作成・対話	主として事例問題
備考				各科目ごとに段階的に設定することを想定し、学期・学年間の配分が科目内部で調整されることを前提とする。	左ほど優先順位が高い	例示列举、各科目の裁量で決定